

仏壇店だより

来年125周年を迎える老舗、市場環境の変化に素早く対応

岸佛光堂 (岡山)

岸佛光堂(岡山)の創業は明治二十年。初代岸國次郎は漆塗りの修業を積み独立、仏具や厨子の製作を営んでいたという。

「岡山の仏壇は元々大工さんが床の横や納戸の仏間に造り付けるものでした。白木の造り付けの仏壇で今でも当時の仏壇を見る事ができますが、戦前までの商売は仏具の販売が中心だったと思

います」と岸卓志社長は語ります。

國次郎の後は二代目岸静夫、三代目岸新一と続く。岸静夫には一人息子の忠正がいたが、國次郎、静夫、忠正の男三人が戦中戦後に亡くなり、昭和四十五年六月二十九日深夜、岡山は米軍B29百四十機による爆撃を受け、市内は壊滅的な打撃を被った。岡山市の中心部にあった岸佛光堂もこの空襲で全焼。

終戦後、岸卓志社長の祖母小一(こいち)は四人の娘を抱えながら、焼け落ちた店舗敷地の表側に店舗を建てて商売を再開。さらに岡山の印鑑彫刻の修業を積んでいた岸新一が、四人の娘のうち長女と結婚し岸佛光堂の三代目となり、岸佛光堂の歴史を継いだ。

昭和三十八年には現在に杭を打ち込んだ上に立てられた鉄筋コンクリート造り四階建ての店舗が完成したのは岸社長が中学校一年生の時。一、二階を店舗として三階を住居とした生活が始まる。社屋はこの時そのままの構造で、現在では一階から四階までを店舗として使用している。

昭和四十年代になると、仏壇が爆発的に売れ始める。池田首相時代の所得増進計画、田中角栄首相時代の列島改造論に始まり、道路や工場用地、住宅地として土地を売却した農家に新築ブームが起り、立派な仏壇を買い求めることがブームとなった。

「当時は25号、22号が主流でした。昭和四十七年には経済連との提携が始まり、岡山県内で随分と展示会もしました。一年に百三十回も展示会をした年もあり、その頃ですと一年に千本以上仏壇を販売していたと思いま



岸佛光堂本店 (岡山市奉還町)



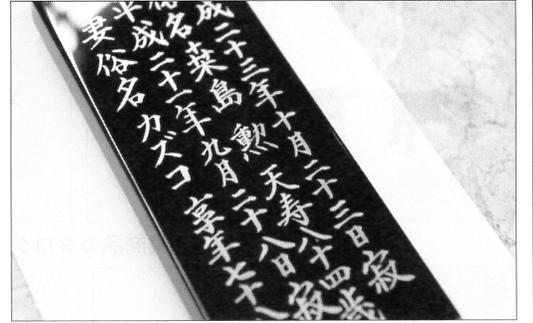
岸佛光堂 岸卓志社長

す。何しろ休みが取れず、忙しくて死にそうでした」と岸社長はふり返る。岸佛光堂は位牌の文字書きと文字彫りを社内でやっている。手書き、手彫りによる文字入れだが、現在、このような作業を行うことのできる仏壇店は少ないのではないだろうか。職人の店として岸佛光堂の表情がここにある。

「店を閉めた後、祖母と父親、母親が三人並んで、来る日も来る日も毎晩、位牌の文字彫り、文字書きをしていた光景を今でもはつきりと覚えています」と岸社長は語る。

岸佛光堂が商品揃えてこだわっているのは、オリジナル性の高い仏壇。徳島伝統的特産品、あるいは国産品、そして手間多く掛けられた部材などが、お客様への信頼を生み出している。

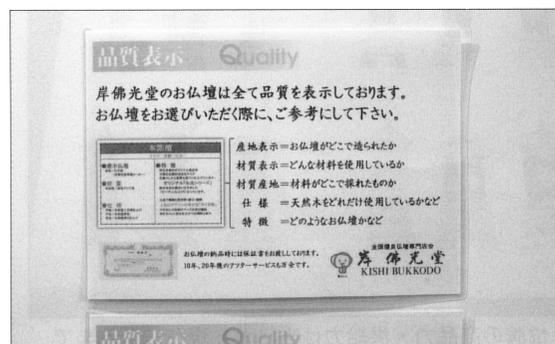
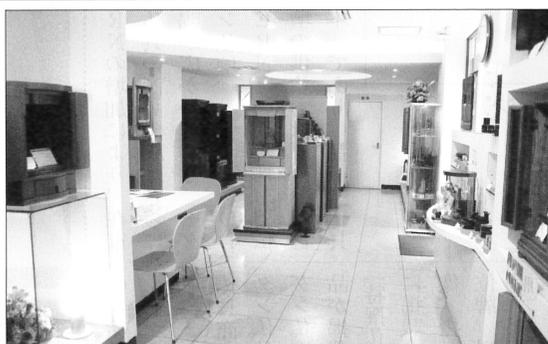
祖母と母親は位牌手彫りのプロであり、格調高い書体は類をみない。また、父親で三代目の岸新一氏は印鑑彫刻の修業を積み、彫り文字と書き文字のプロであり、岸社長は三人から両方の手法を習う。「習うといっても、まさに見よう見まねですね。自然と出来るようになります」と語りながら、ご自分で彫られた位牌文字と書きの位牌文字を見せて頂いたが、機械彫りとは味わいが異なる、心のこもった文字である。



引き継がれる職人の技 岸社長による文字彫刻と文字書き



平成22年「おかやま・店舗ディスプレイ大賞」を受賞したNew Style 仏壇店舗(右)と受賞盾(左)



いち早く取り組みを始めた品質表示と産地表示



オリジナル仏壇中心にした品揃え

売するための環境作りであり、価格に対しての説明となります」と岸社長は語る。

岡山市内では住環境の変化が起き始めており、都市型仏壇をお買い求めになるお客様が増加。この変化に合わせて平成十八年六月にはニュースタイル仏壇の店舗を本店舗に隣接する場所にオープン。

「伝統型仏壇を展示する同じ場所にニュースタイル仏壇は展示したくないという想いがありました。空間的に全く別の場所と考えている時、たまたま店舗の隣が使えることになり、新店舗としてオープンさせました」

多くの仏壇店は都市型仏壇を同じ店舗内に展示しているが、岸佛光堂岡山店では別空間にこだわり、岸社長の長男で専務をつとめる岸紘史氏の企画でデザイナーの協力の下、ロゴも製作し、包装紙も岸佛光堂のものとは異なるオリジナルのものを製作した。店舗は昨年、岡山市からの表彰を

社長は倉敷店の店長を務め、寺院関係や全般的な仕事に携わる。次男の岸大貴常務は岡山店店長を(位牌文字書きと彫刻の技術を学びつつある)そして三男の正晃氏は本社にあって総務企画課長を務めている。

「ニュースタイル仏壇は岡山店での販売比率が最も高くなっています。ニュースタイル仏壇に対しての仏具もじっくりと選ばれるお客様が多いですね。仏壇の小型化は全国的な潮流だと思いますが、最近感じるのは自分

の仏壇を選びに来られるお客様が増えているということ。小さめで、自分の子供達が面倒を見ることのできる仏壇をお選びになるお客様です。これも時代の流れだと思えます」

岸佛光堂は時代の変化に対応しながら、職人と

の魂を仏壇に託す仏壇店として来年125周年を迎える。

◎岸佛光堂 岡山市北区奉還町二一四一五 TEL086(二五二)五〇六五 FAX086(二五五)二〇五〇